



ApeosPlus Cards R Connector ユーザーガイド

2025年10月1日

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

はじめに

弊社の複合機を利用してApeosPlus Cards R（以下、Cards R）に名刺画像を登録する場合、複合機に搭載された「ApeosPlus Cards R Connector」（以下、Cards R Connector）をご利用ください。

このユーザーガイドではCards R Connectorのご利用方法について説明します。

このユーザーガイドの内容は、お使いの複合機の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。複合機の基本的な知識や操作方法については、複合機に同梱されている「管理者ガイド」や「ユーザーガイド」をご覧ください。

重要な注意制限事項

名刺 原稿送り装置では**91 mm x 55 mm**の標準サイズの名刺のみをサポートします。それ以外のサイズについて、サイズが小さい名刺の場合、画像が斜めになってしまうことがあります。サイズが大きな名刺の場合、画像が切れてしまうことがありますのでご注意ください。

また、**プラスチック、金属、厚紙**の名刺も対応していません。

対応していない名刺は原稿ガラスでのスキャンやスマホでの撮影をご利用ください。

ご注意

- ① このユーザーガイドの編集、変更または無断で転載はしないでください。
- ② このユーザーガイドに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ③ このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。

FUJIFILM、およびFUJIFILMロゴは富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
社名、または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

対応機種

本書で説明するApeosPlus Cards R Connectorは以下の複合機に対応しています。

対応機種

<名刺原稿送り装置（ApeosPlus Cards R Connector ADFオプション）対応>

Apeos C3067

Apeos C5571 / C4571 / C3571 / C2571 注1

Apeos C5570 / C4570 / C3570 / C3070 / C2570 注1

Apeos C2360 注2

Apeos 3061 / 2561 注3

Apeos 4570 / 3570 注1

Apeos 3060 / 2560 注4

対応機種

<名刺原稿送り装置非対応（名刺のセット位置は原稿ガラス）>

Apeos C7071 / C6571

Apeos C7070 / C6570

Apeos C8180 / C7580 / C6580

Apeos C2060 注5

ApeosPro C810 / C750 / C650

Apeos 2061

注記 スキャナーキットが装着されている必要があります。

注1 自動原稿送り装置B2-PC搭載モデルである必要があります。詳細は複合機の担当営業までお尋ねください。

注2 Apeos C2360 PFS-B。複合機Controller ROMバージョン1.2.7以降である必要があります。

注3 Apeos 3061 PFS-B / Apeos 2561 PFS-B。

注4 Apeos 3060 PFS-B / Apeos 2560 PFS-B。複合機Controller ROMバージョン1.2.7以降である必要があります。

注5 ストレージ（SSD）が装着されている必要があります。

目次

1. 事前準備

1-1 複合機の設定

1-2 名刺 原稿送り装置をご利用の場合

2. 複合機での操作

2-1 Cards R Connectorの起動

2-2 初期設定

2-3 スキャン方法の選択（名刺 原稿送り装置をご利用の場合のみ）

2-4 名刺の所有者の選択

2-5 名刺 原稿送り装置でのスキャン

2-6 原稿ガラスでのスキャン

2-7 その他の機能

3. 注意制限事項

本サービスに関するお問い合わせは、Cards R公式サイト「お問合せフォーム」からご連絡ください。



事前準備

複合機の設定

複合機からCards R Connectorを利用するには、複合機がインターネット上のCards Rサーバーと通信できる必要があります。

インターネットプロトコル	ipv4
通信プロトコル	https

上記が有効となるよう、複合機にIPアドレス、Proxyサーバーなどの設定を行ってください。

初期状態ではCards R Connectorのアイコンは複合機のホーム画面には表示されません。お使いの複合機のリファレンスガイド 操作編を参照し、Cards R Connectorのアイコンを有効にしてください。

注意

Cards Rのサポートデスクでは複合機の操作・設定方法についてはご案内できません。

名刺 原稿送り装置をご利用の場合

ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションとは名刺スキャンに対応した原稿送り装置でスキャンした名刺が直接Cards Rサーバーに登録可能となるソフトウェアオプションです。

以下の複合機で名刺 原稿送り装置をご利用になる場合、「**ApeosPlus Cards R Connector ADFオプション**」の契約が必要となります。ご利用になる複合機の台数に応じて、あらかじめご契約いただけますようお願いいたします。

Apeos C3067

Apeos C5571 / C4571 / C3571 / C2571

Apeos C5570 / C4570 / C3570 / C3070 / C2570

Apeos C2360

Apeos 3061 / 2561

Apeos 4570 / 3570

Apeos 3060 / 2560

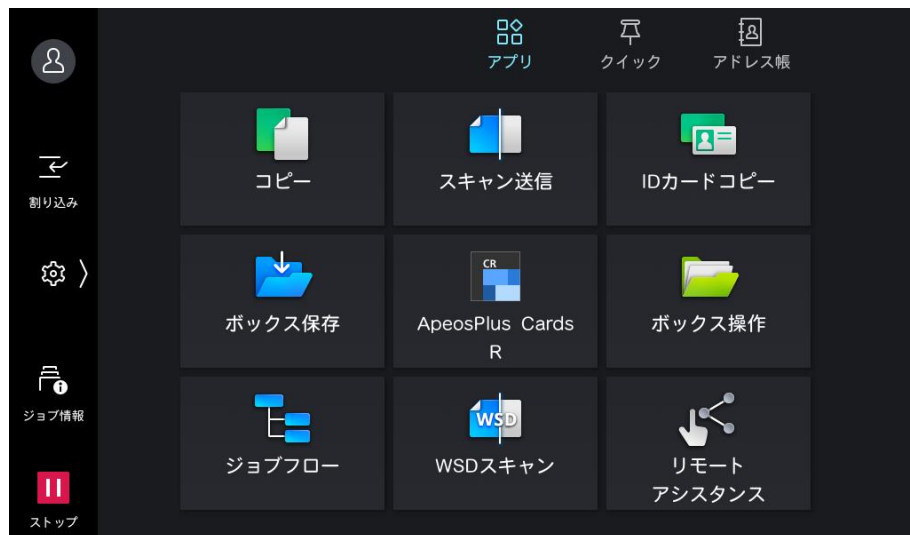
ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効な場合、Connectorを起動すると名刺のセット位置が「**原稿送り装置**」となります。

なお、ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効ではない場合は名刺スキャンの方法として名刺 原稿送り装置を選択することはできません。また、名刺 原稿送り装置機能のない複合機も同様です。



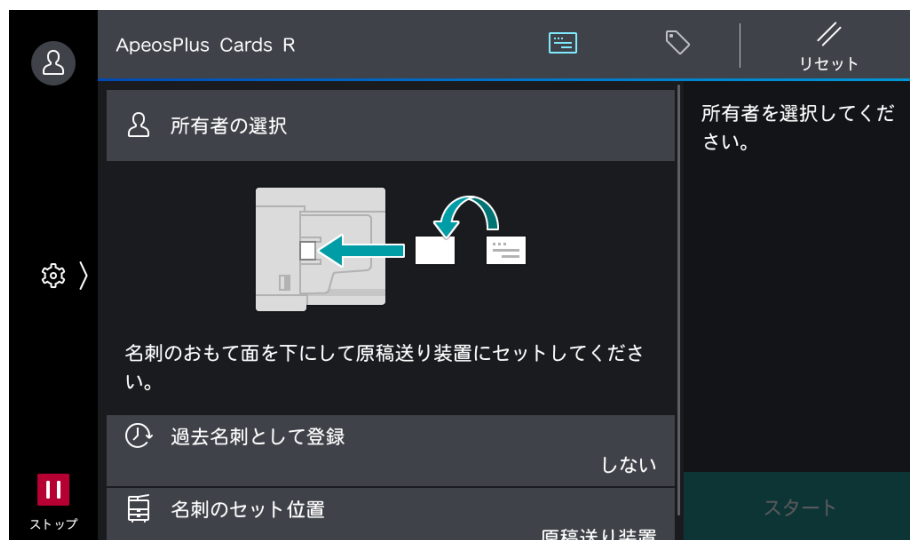
2. 複合機での操作

Cards R Connectorの起動



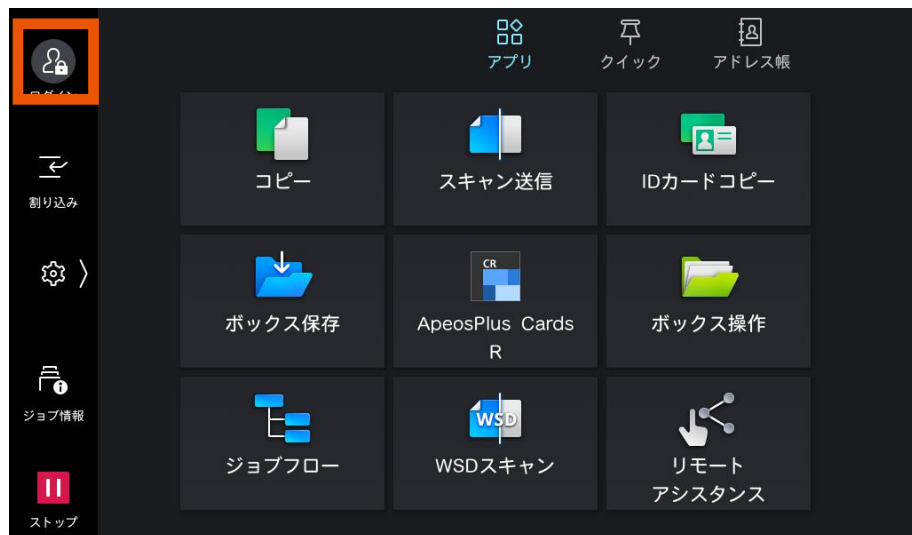
複合機の認証方式が「認証しない」の場合

複合機本体の認証方式が「認証しない」の場合、操作パネルのメニュー画面で「ApeosPlus Cards R」のアイコンをタップするとCards R Connectorが起動します。



初期設定が完了しているとCards R Connectorのホーム画面が表示されます。

Cards R Connectorの起動

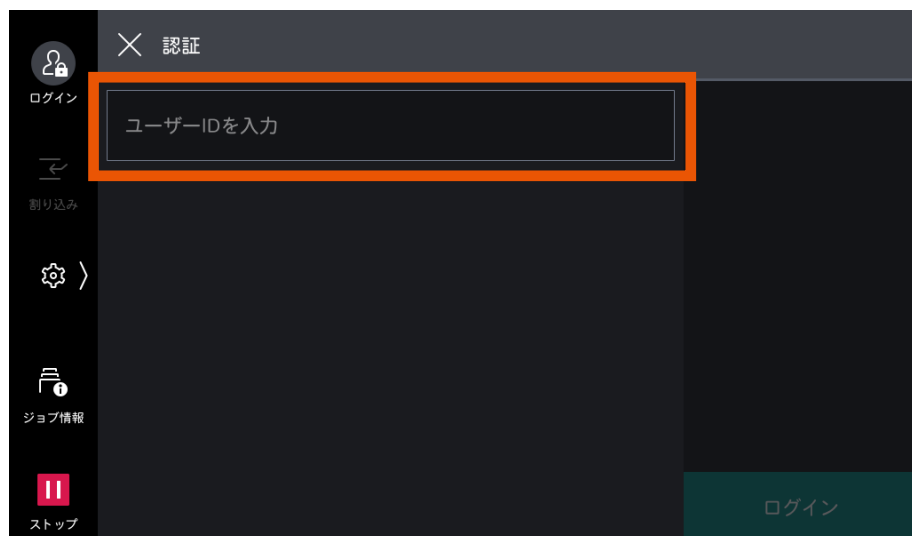


複合機の認証方式が「認証する」の場合

複合機本体の認証方式が「認証する」の場合、操作パネルのメニュー画面で「ApeosPlus Cards R」のアイコンをタップすると複合機本体の認証画面が表示されます。

認証画面で**複合機本体のユーザーID**を入力してください。

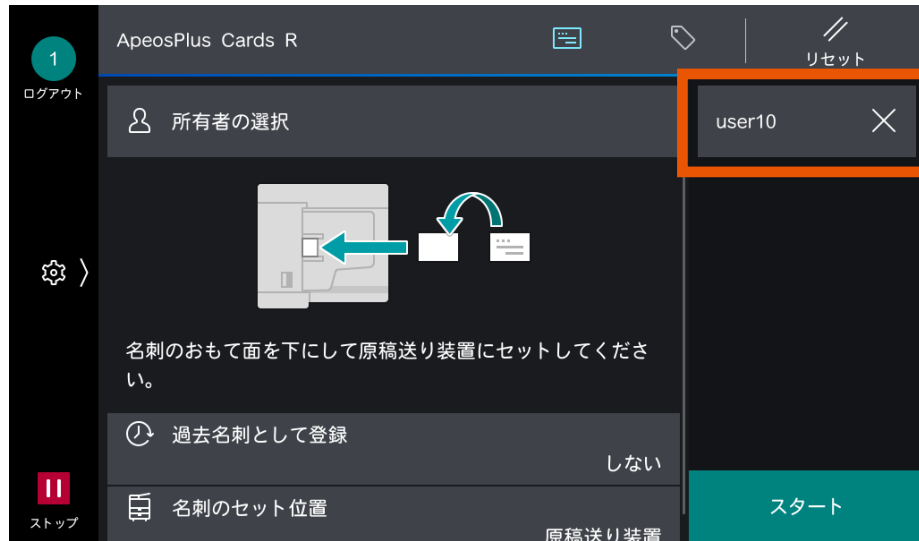
認証に成功するとCards R Connectorが起動します。



① 認証にICカードを利用している場合

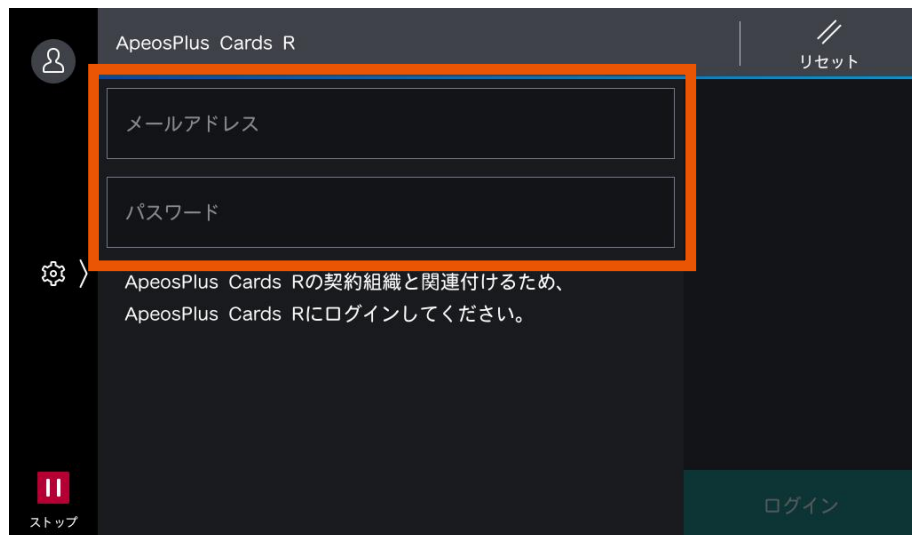
複合機本体のユーザーIDの入力は不要です。
(ICカードを所定の場所にかざしてください。)

Cards R Connectorの起動



初期設定が完了しているとCards R Connectorのホーム画面が表示されます。
複合機の認証IDと関連付いたCards Rユーザーが所有者に設定されます。

初期設定



初めてCards R Connectorをご利用になる場合

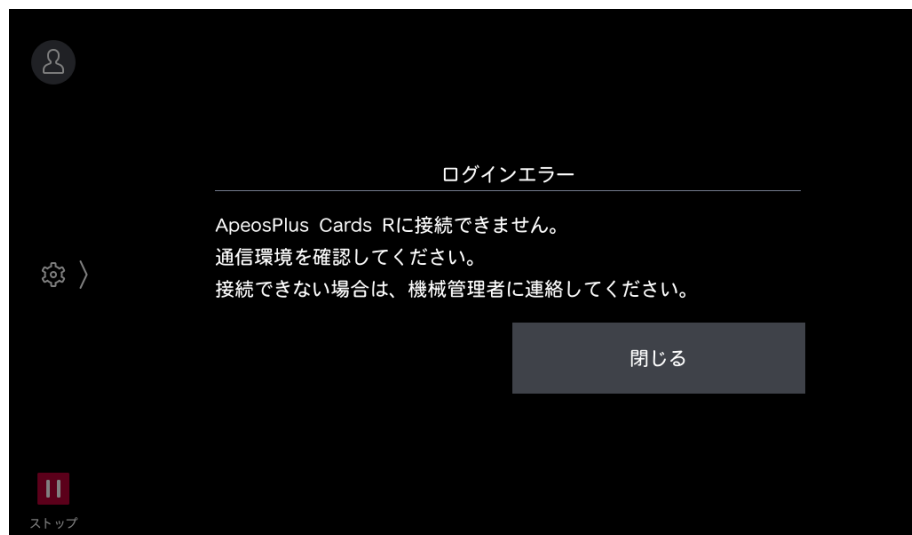
Cards R Connectorを初めてご利用になる場合、Cards R Connectorとご利用になるCards R組織の関連付けを行うために、Cards Rの認証情報が求められます。**Cards Rユーザーアカウントとパスワード**を入力してください。

なお、この作業はCards Rユーザーの方であれば誰でも可能ですが、管理者の方が行うことをお勧めします。

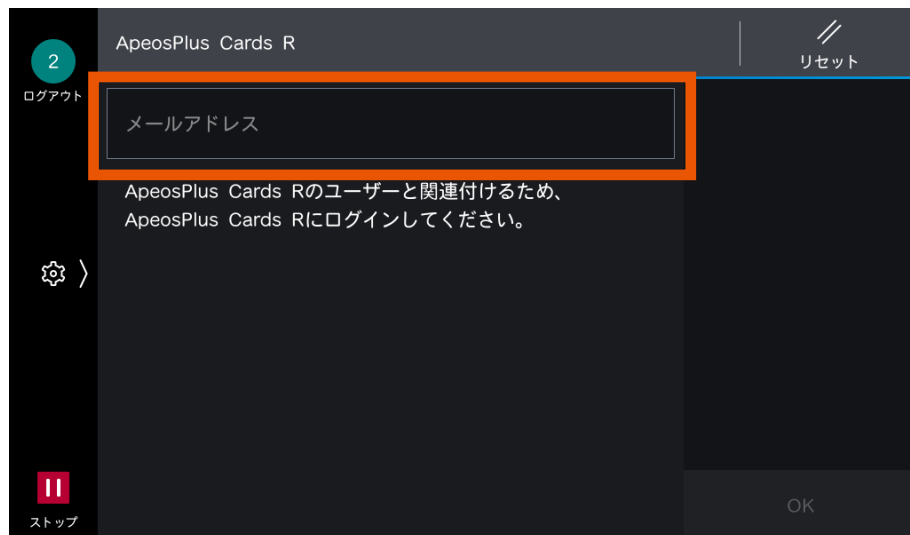
⚠ ログインエラーが表示される場合

複合機からCards R Connectorを利用するには、複合機がインターネット上のCards Rサーバーと通信できる必要があります。

複合機がインターネットに接続できることを確認してください。



初期設定

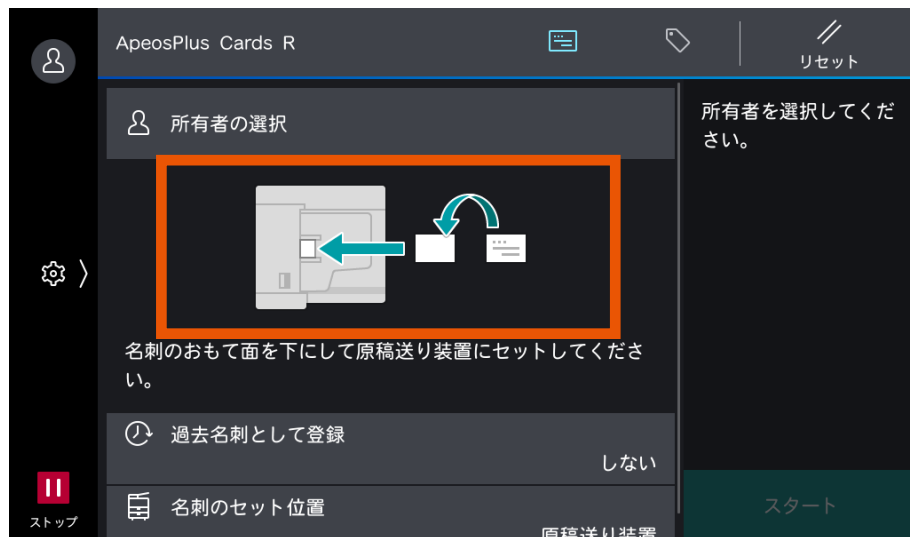


複合機の認証方式が「認証あり」のユーザーが初めてCards Rをご利用になる場合

複合機の認証IDとCards Rユーザーの関連付けを行うために、**Cards Rのユーザーアカウント**を入力してください。

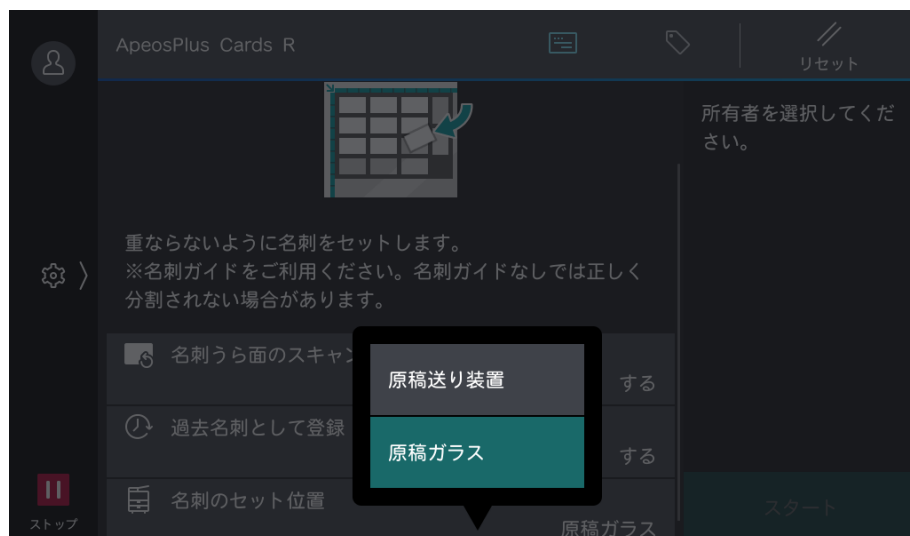
スキャン方法の選択

(ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効な場合)



ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効な場合

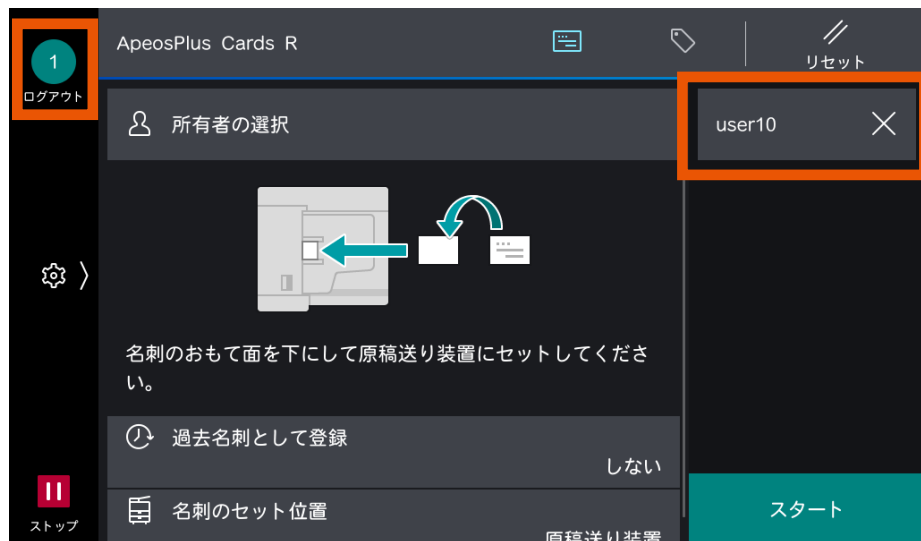
Connector起動時の名刺のセット位置が「**原稿送り装置**」となります。



原稿ガラスから並べてスキャンを行う場合

名刺のセット位置で「**原稿ガラス**」を選択し名刺のセット位置を変更してください。

名刺の所有者の選択



複合機の認証方式が「認証する」の場合

複合機のユーザーIDと紐付くCards Rユーザーアカウントが名刺の所有者となります。

認証方式が認証なしの場合

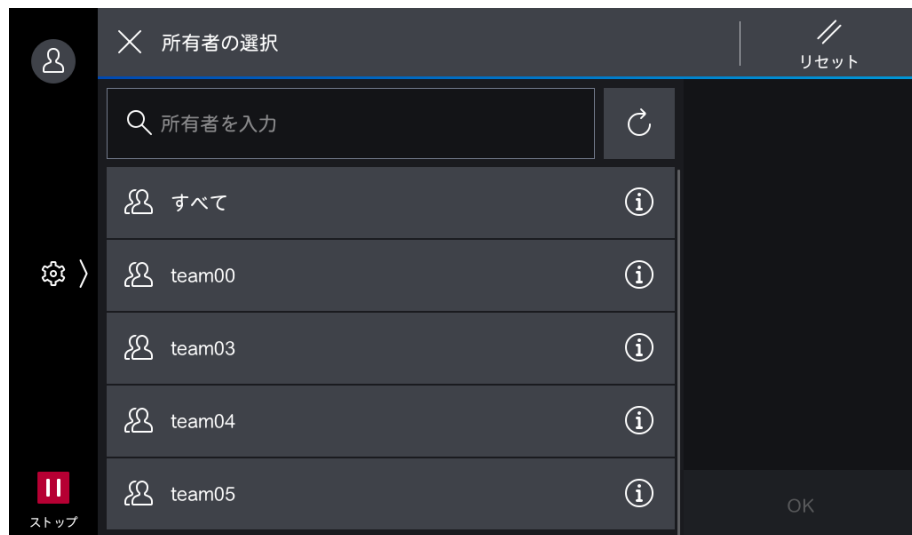
名刺の所有者をユーザー一覧から選択してください。

i 便利機能

名刺の所有者は1度に10名まで設定することができます。

複数所有者設定機能をお使いいただくと、会議で入手した名刺の登録の際に1回のスキャンで参加者全員を所有者に設定できます。

名刺の所有者の選択



所属チームまたは[すべて]を選択し、表示されるユーザー一覧から名刺の所有者を選択します。
[すべて]を選択すると組織の全ユーザーが表示されます。

所有者は10名まで設定できます。

⚠ 注意

プランが割り当て済みのユーザーが表示されます。

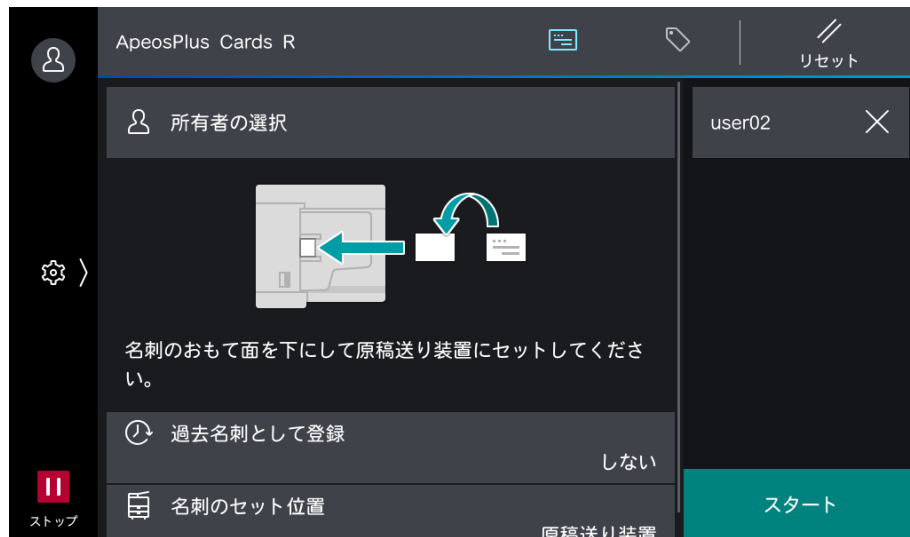
チームまたは[すべて]に所属するユーザーが100名以上の場合には対象ユーザーを「…」の「検索」から検索して選択してください。

⚠ 注意

一覧には99名までしか表示されません。



名刺 原稿送り装置でのスキャン (有料オプション)



名刺 原稿送り装置に名刺をセットして「スタート」ボタンをタップすると、名刺のスキャンを開始しCards Rに名刺を登録します。

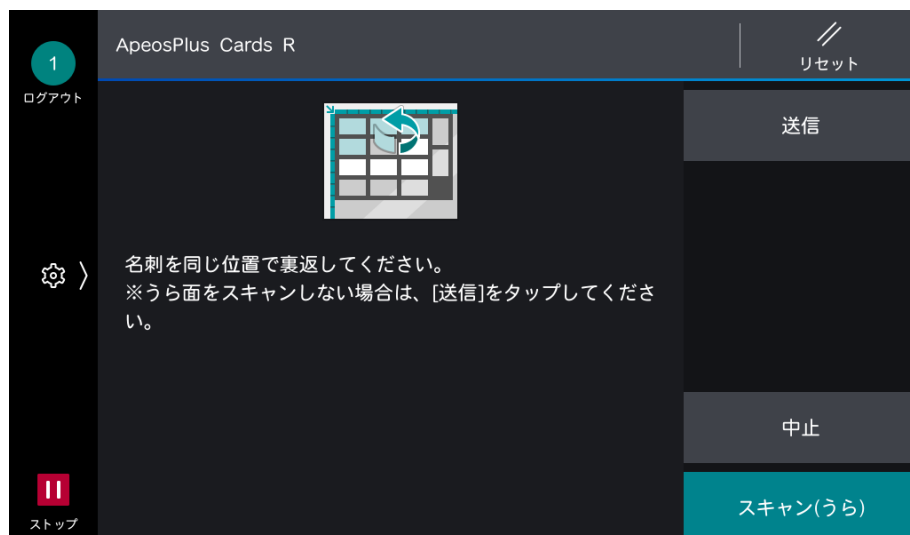
⚠ 注意

- ・名刺の表面が下向きになるようにセットしてください。
- ・名刺 原稿送り装置に一度にセットできる枚数は50枚までです。スキャンの途中で継ぎ足しを行うとエラーになる場合があります。

原稿ガラスでのスキャン



名刺ガイドを利用して、原稿ガラスに名刺を並べてください。「スタート」ボタンをタップすると、名刺のスキャンを開始しCards Rに名刺を登録します。



うら面の登録を行う場合には、おもて面のスキャン完了後、名刺の位置を変えずに裏返し、「スキャン(うら)」ボタンを押してください。おもて面に続きうら面のスキャンを開始しCards Rに名刺を登録します。

⚠ 注意

名刺ガイドを利用しない場合は名刺が正しく登録できないことがあります。

その他の機能



タグの設定

Cards Rで利用する組織タグを3つまで設定することができます。

複合機ではテンポラリのタグ名を利用し、Cards RのWeb画面で編集することをお勧めします。



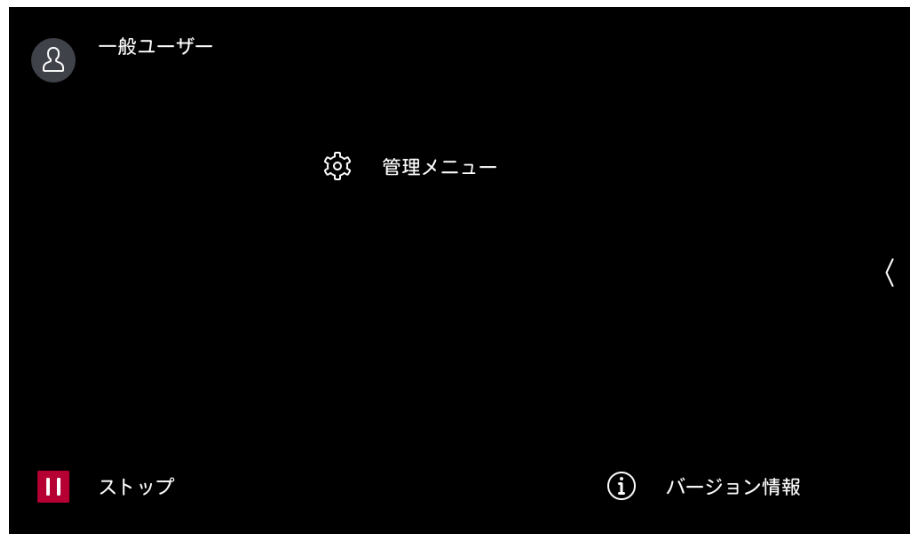
過去名刺として登録

古い名刺を登録して自動名寄せが動作する場合に登録した名刺が最新にならないようにするための設定です。

同一人物がCards Rに存在しない場合には新規の名刺として登録します。

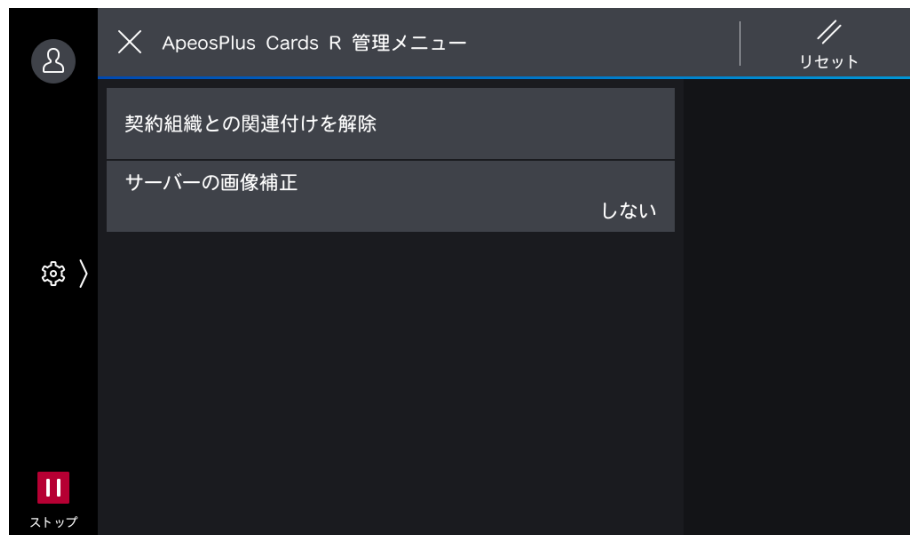
主にサービス利用開始時に古い名刺を登録する際に利用します。

その他の機能



管理メニュー

設定ボタン（⚙）で管理メニューを表示します。



契約組織との関連付けを解除

初期設定で設定したCards R契約組織との関連付けを解除します。

サーバーの画像補正

初期状態は「しない」です。複合機で画像補正処理を行いサーバーに名刺画像を送信します。

※ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効な場合に表示します。



注意制限事項

名刺スキャンに関する注意制限事項

名刺 原稿送り装置利用時の名刺の置き方

名刺 原稿送り装置を利用する場合には、**名刺の表面を下向きにしてセットしてください**。Cards R Connector以外でご利用の際の原稿セット面とは逆向きになりますので注意してください。

名刺 原稿送り装置を利用可能な名刺

サポートする名刺サイズは**91 mm x 55 mm**のもののみです。

名刺 原稿送り装置はその用紙を複合機の内部を搬送させるため、一定以上の厚さがある名刺および紙ではない名刺は正しく搬送できない場合があります。（用紙詰まりが発生します。）

特に**プラスチックや金属の名刺は複合機を破損させる恐れ**がありますので、ご利用にならないようお願いします。

また、角が丸い名刺や特定の灰色地の名刺の場合、画像補正が正しく動作しない場合があります。

名刺 原稿送り装置に対応していない名刺は原稿ガラスでのスキャンやスマートフォンアプリでの撮影をご利用ください。

名刺 原稿送り装置からスキャンした名刺画像に線や帯が入る場合

原稿送り装置の読み取り部を清掃してください。

https://www.fujifilm.com/fb/support/mf/apeos_c7070/contents/apeos_c7070_6015.html

原稿ガラスに名刺を並べる場合

専用の名刺ガイドをご利用ください。名刺ガイドを利用しない場合、名刺が正しく認識されない場合があります。

Cards RでSAML認証・2段階認証をご利用の場合の注意制限事項

SAML認証をご利用の場合

Cards R ConnectorはSAML認証でログインできません。

Cards R Connectorと組織を関連付ける際には、Microsoft Entra IDが管理するユーザーID, パスワードではなく、Cards Rが管理するユーザーID, パスワードを指定してください。

2段階認証をご利用の場合

2段階認証が有効なユーザーはCards R Connectorにログインできません。

Cards R Connectorと組織を関連付ける際には、2段階認証を無効にした状態で実施してください。

改訂履歴

更新日	バージョン	内容
2021/4/1	v1.00	初版発行
2023/2/10	V1.01	対応機種情報を更新
2023/5/25	V1.02	対応機種情報を更新
2024/10/1	V1.03	対応機種情報を更新
2025/10/1	V1.04	対応機種情報を更新

